

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年8月27日
【事業年度】	第6期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	アルフレッサホールディングス株式会社
【英訳名】	Alfresa Holdings Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石黒 傳六
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
【電話番号】	03-5219-5100
【事務連絡者氏名】	常務執行役員 財務・広報IR担当 財務企画部長 三宅 俊一
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
【電話番号】	03-5219-5100
【事務連絡者氏名】	常務執行役員 財務・広報IR担当 財務企画部長 三宅 俊一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月25日に提出いたしました第6期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

6 コーポレート・ガバナンスの状況等

(1) コーポレート・ガバナンスの状況

(2) 監査報酬の内容等

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報)

(関連当事者情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しております。

第一部【企業情報】

第4【提出会社の状況】

6【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

<コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況>

(訂正前)

会社の経営上の意思決定、執行および監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況
(途中省略)

(6)監査部は、各グループ会社の内部監査部門と連携し、当社グループにおける監査機能の充実を図る。

(訂正後)

会社の経営上の意思決定、執行および監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況
(途中省略)

(6)監査部(平成21年3月31日現在、2名在籍)は、各グループ会社の内部監査部門と連携し、当社グループにおける監査機能の充実を図る。

(訂正前)

取締役の定数・取締役の選解任の決議要件に関する別段の定めについて

- ・当社は、取締役の定数につき、15名以内とする旨を定款に定めております。
- ・当社は、取締役の選任決議について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う旨を定款に定めております。

(訂正後)

取締役の定数・取締役の選解任の決議要件に関する別段の定めについて

- ・当社は、取締役の定数につき、15名以内とする旨を定款に定めております。
- ・当社は、取締役の選任決議について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う旨を定款に定めております。
- ・当社は、取締役の選任決議について、その決議は累積投票によらない旨を定款に定めております。

(2) 【監査報酬の内容等】

(訂正前)

【監査報酬の決定方針】

当社では、会社法第399条第1項の主旨にならい、会計監査人の独立性が損なわれることがないよう、当社の事業規模から合理的と考えられる監査報酬額について監査法人と協議の上、監査役会の同意を得て、取締役会が決定しております。

(訂正後)

【監査報酬の決定方針】

当社では、会社法第399条第1項の主旨にならい、会計監査人の独立性が損なわれることがないよう、当社の事業規模から合理的と考えられる監査報酬額について監査法人と協議の上、監査役会の同意を得て、代表取締役が決定した後、取締役会に報告しております。

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

(訂正前)

当連結会計年度(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

	医薬品等卸売 事業 (百万円)	医薬品等製造 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,918,210	16,658	1,934,868	-	1,934,868
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	3	8,182	8,185	(8,185)	-
計	1,918,213	24,840	1,943,053	(8,185)	1,934,868
営業費用	1,910,904	23,740	1,934,645	(8,560)	1,926,085
営業利益	7,308	1,099	8,408	374	8,783
資産、減価償却費、減損損失 及び資本的支出					
資 産	841,189	26,211	867,401	16,847	884,249
減価償却費	3,172	1,908	5,081	160	5,242
減損損失	721	-	721	-	721
資本的支出	11,168	2,888	14,057	36	14,093

(注) 1. ~ 2. <省略>

3. 当連結会計年度における資産のうち消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は21,631百万円であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

4. ~ 5. <省略>

(訂正後)

当連結会計年度(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

	医薬品等卸売 事業 (百万円)	医薬品等製造 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,918,210	16,658	1,934,868	-	1,934,868
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	3	8,182	8,185	(8,185)	-
計	1,918,213	24,840	1,943,053	(8,185)	1,934,868
営業費用	1,910,904	23,740	1,934,645	(8,560)	1,926,085
営業利益	7,308	1,099	8,408	374	8,783
資産、減価償却費、減損損失 及び資本的支出					
資 産	841,189	26,211	867,401	16,847	884,249
減価償却費	3,172	1,908	5,081	160	5,242
減損損失	721	-	721	-	721
資本的支出	11,168	2,888	14,057	36	14,093

(注) 1. ~ 2. <省略>

3. 当連結会計年度における資産のうち消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は23,712百万円であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

4. ~ 5. <省略>

【関連当事者情報】

(訂正前)

当連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

(追加情報)

当連結会計年度より、「関連当事者の開示に関する会計基準」(企業会計基準第11号平成18年10月17日)及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第13号平成18年10月17日)を適用しております。

この結果、従来の開示対象範囲に加えて、連結財務諸表提出会社の重要な子会社の役員が開示対象に追加されております。

関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
役員及びその近親者	岡内 隆三	-	-	四国アルフレッサ㈱代表取締役	(被所有)直接0.0%	債務被保証	四国アルフレッサ㈱仕入債務に対する被保証	17	-	-
	我喜屋 宏	-	-	㈱琉薬代表取締役	(被所有)直接0.0%	債務被保証	㈱琉薬仕入債務に対する被保証	75	-	-
	富原 盛勇	-	-	㈱琉薬代表取締役	(被所有)直接0.0%	債務被保証	㈱琉薬仕入債務に対する被保証	78	-	-
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	医療法人ハート	広島市中区	4	医院	-	成和産業㈱が商品販売	医薬品の販売	34	売掛金	3
	㈲折本	石川県小松市	5	薬局	(被所有)直接0.0%	明祥㈱が商品販売	医薬品の販売	36	売掛金	7
	㈲小田島薬局	岩手県花巻市	10	薬局	-	㈱小田島が商品販売	医薬品の販売	57	売掛金	15
	合名会社渥美薬局	浜松市中区	6	薬局	(被所有)直接0.0%	アルフレッサ㈱およびシーエス薬品㈱が商品販売	医薬品の販売	102	売掛金	26
	富原薬店	沖縄県那覇市	-	薬局	-	㈱琉薬が商品販売	医薬品の販売	3	売掛金	12

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針

(1) 商品の販売については、市場の実勢価格等を参考にして、その都度交渉の上で決定しております。

(2) 仕入債務に対する被保証については、会社代表者として行った取引であり、独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件で行っております。なお、保証料の支払いは行ってありません。

(訂正後)

当連結会計年度(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

(追加情報)

当連結会計年度より、「関連当事者の開示に関する会計基準」(企業会計基準第11号平成18年10月17日)及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第13号平成18年10月17日)を適用しております。この結果、従来の開示対象範囲に加えて、連結財務諸表提出会社の重要な子会社の役員が開示対象に追加されております。

関連当事者との取引

1. 連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

該当事項はありません。

2. 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
役員及びその近親者	岡内 隆三	-	-	四国アルフレッサ(株)代表取締役	(被所有)直接0.0%	債務被保証	四国アルフレッサ(株)仕入債務に対する被保証	17	-	-
	我喜屋 宏	-	-	(株)琉薬代表取締役	(被所有)直接0.0%	債務被保証	(株)琉薬仕入債務に対する被保証	75	-	-
	富原 盛勇	-	-	(株)琉薬代表取締役	(被所有)直接0.0%	債務被保証	(株)琉薬仕入債務に対する被保証	78	-	-
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	医療法人ハート	広島市中区	4	医院	-	成和産業(株)が商品販売	医薬品の販売	34	売掛金	3
	(有)折本	石川県小松市	5	薬局	(被所有)直接0.0%	明祥(株)が商品販売	医薬品の販売	36	売掛金	7
	(有)小田島薬局	岩手県花巻市	10	薬局	-	(株)小田島が商品販売	医薬品の販売	57	売掛金	15
	合名会社渥美薬局	浜松市中区	6	薬局	(被所有)直接0.0%	アルフレッサ(株)およびシーエス薬品(株)が商品販売	医薬品の販売	102	売掛金	26
	富原薬店	沖縄県那覇市	-	薬局	-	(株)琉薬が商品販売	医薬品の販売	3	売掛金	12

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針

- (1) 商品の販売については、市場の実勢価格等を参考にして、その都度交渉の上で決定しております。
- (2) 仕入債務に対する被保証については、会社代表者として行った取引であり、独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件で行っております。なお、保証料の支払いは行っておりません。